

【オリコンサルHD 重点化事業を強化 成長軌道へモデル変革】

# 重点化事業を強化 成長軌道へモデル変革

オリコンサルHD



オリエンタルコンサルタンツホールディングスは、2030年ビジョン・中期経営計画の初年度となる今年9月期、国内・海外合わせて176件の重点化プロジェクトを推進し、事業創造・拡大のさらなる加速を目指す。

5月30日に開いた今9月期第2四半期決算説明会で野崎秀則社長は「会社全体の事業を社会ニーズに合わせて変革し、成長軌道に乗せていくためにも重点化プロジェクトを質と量の両面で強化していく」と語り、新たな事業モデルや技術モデルの構築に意欲を示した。写真。

重点化事業は、特に国内市

場でインフラ整備・保全が40件、水管理・保全が27件、防災が18件、交通（高度化・総合化）は39件、地方創生で42件の重点化プロジェクトを推進中だ。これは前期実績の約4割増となる。

これらの取り組みの着実な進展もあって、今上期の連結売上高は前期比8・8%増の412億7000万円、営業利益が30・3%増の36億8700万円、経常利益が9・6%増の33億1200万円、純利益は22・9%増の22億6400万円と、いずれも過去最高を更新した。受注高も14・2%増の390億0400万円、受注残高は6・7%増の1427億3300万円となっている。国内、海外とも当面良好な受注環境が継続するとみており、通期も当初の計画どおり、売上高、営業利益は過去最高の更新を見込んでいる。